

第5分科会 人権教育

分科会テーマ 思いやる心を育むには

研究内容 互いを尊重し合える心の教育

現状と課題

いじめや不登校、SNSやネット利用に起因する生活や意識変化の問題が後を絶ちません。第4次産業革命による技術革新は、社会の構造と私たちの生活スタイルを複雑多様化する一方、子どもたちの健やかな成長を願う私たちにとっては、子どもたちが置かれている環境と、親としての役割、さらに大人としての関わり方について真剣に振り返り返る必要があります。

子どもにまで広がる多様なコミュニケーションツールの活用の在り方と親の役割、思いやりの心を育てるためのコミュニケーションについて考えます。

討議の視点

- 多様化するコミュニケーションツールの活用法
- 思いやりの心を育てる真のコミュニケーションの在り方

基調講演



講演題名 『インターネット・SNSを通して育む多様性への理解』

基調講演者名 原 一宣。

所 属 株式会社Gazi 工房 代表取締役

プロフィール

福島県福島市生まれ。東北福祉大学卒業。食品加工会社、電子基板製造会社を経て、フリーランスでウェブ制作活動を開始。2007年に株式会社Gazi工房を設立。

2011年、東日本大震災・原発事故を機に山形県川西町に移住。

ウェブサイトの企画・設計、制作業務に従事。中小企業向けオンラインビジネス支援サイト「はじめてWEB」にてコラム執筆、技術書の執筆を行う。また、中小企業向けにWebに関する講演、地域や小中学生、PTAを対象としたネットリテラシーやSNSの講演・授業も行う。

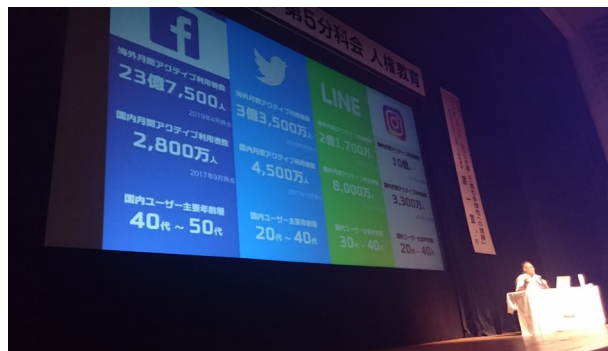
主な著書に「HTML5+CSS3の新しい教科書 基礎から覚える、深く理解できる。」「ああしたい、こう変えたいが手にとるようにわかる CSS 基礎」「プロとして恥ずかしくない 新・WEB デザインの大原則」「Web デザイン基礎トレーニング」「HTML5+CSS3の新しい教科書 基礎から覚える、深く理解できる。(改訂版)」などがある。(共著、エムディエヌコーポレーション)

講演内容

インターネットの発達とともに急速に進むグローバル化。その中で多様化という言葉に触れる機会が増えています。また、スマートフォンの登場により、子どもたちを含め多くの人々がデジタル世界でのコミュニケーション機会が増加している現在。トラブルもこれらの状況に比例して増えています。スマートフォンの所持禁止、接続制限など様々な取り組みが行われていますが、これらが根本的な解決となりえるのでしょうか。このことを背景に、近年求められる多様性やコミュニケーションとは何なのか、更に発展するであろうデジタル世界を通して、思いやり・心のあり方や、子どもたちの教育に必要なものは何か、現在のインターネットの事情やSNSの種類・活用法、さまざまなリスクやトラブルなどの事例を交えながらお話いたします。デジタル機器を子どもたちに買いつけているのは我々保護者であり、このような中で私たち親や教師はどのようにあるべきかを一緒に考えてみましょう。

基調講演では、インターネット・SNSを通して育む多様性への理解と題し、原一宣。氏よりご講演いただきました。モラル・リテラシー・コミュニケーションの大切さと、それに関わる様々な事例についてお話しいただきました。思いやる気持ち、考える力、等情報端末を扱う上で大切なことが伝わる時間となりました。

パネルディスカッションでは、「多様化するコミュニケーションツールの活用法」、「思いやりの心を育てる真のコミュニケーションの在り方」をもとに討議しました。各パネリストからは、悪事に使用されるイメージが強い SNS、スマホについてのお話や、メディアの報道について人権の視点から意見交換されました。各学校 (PTA) で取り組んでいることの紹介もあり、会場を沸かせる一幕もありました。親のコンピューターリテラシーについて難しい話題も登場しましたが、基本的にあいさつが思いやりの心を育てるといったまとめとなりました。PTA への積極参加も情報共有の一つといった貴重なお話も交わされました。



コーディネーター
パネリスト

原 一宣。 株式会社 Gazi 工房 代表取締役
 齋藤 映香 岩手県 P T A 連合会 平成 3 0 年度副会長
 菊田 篤 宮城県 P T A 連合会 顧問
 佐藤 義庸 山形県山形市立出羽小学校 P T A 顧問
 田口 昭隆 岩手県 P T A 連合会 会長
 渡部 亨 山形県東置賜郡川西町立川西中学校 P T A 会長
 川西町フレンドリープラザ

分科会運営責任者
分科会会場責任者
会場